



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします



韓国ベンジャミン人間性英才学校 第1回グランドフェスティバル開催

1期生が成長ストーリーを発表

10月14日韓国ソウル市で、韓国ベンジャミン人間性英才学校が第1回グランドフェスティバルを開催し、日本から1期生の木庭大晴(こばたいせい)君、2期生の末崎歩望(すえさきあみ)さんが、担任講師の高木桂子先生が特別招待されました。



ステージで成長ストーリーを発表し、冒頭を勉強中の韓国語でスピーチして大きな注目を集めた大晴君は「とても緊張しましたが、本番ではしっかりと言うことが出来て良かったです。また1つ成長できたと思います」と話してくれました。

歩望さんは「韓国のベンジャミンの子たちはとても優しくてみんな話しかけて来てくれて友達がたくさん増えました。これから成長できた！って思えるようなことにもっとチャレンジしていきたいです。それと韓国語をもっと勉強して友達と韓国語で話せるようになりたいです」と短い滞在の間に、韓国のベンジャミン学校の生徒と交流を深めました。

1期生 成長ストーリー



日本ベンジャミン人間性英才学校
1期生 木庭大晴君

「僕が入学したきっかけは、韓国ベンジャミンの先輩に会って話したことです。歳は

あまり変わらないのに、内面は大人のようにしっかりとしていました。日本語も上手で、太陽のように明るく輝いていて本当にかっこよかったです。

ベンジャミンに入学すれば、自分も変われるのかなと思ひ、高校を1年間休学し、入学することを決めました。

入学前の僕は、何に対しても自信が持てませんでした。入学後すぐに行われた日韓合同プロジェクトに参加し、言葉ではなく、心で通じ合うことや、みんなで支え合うことを学びました。フリーハグやラブハンズでは「私たちは国家や人種関係なく地球市民です！」とたくさんの人と交流することができ、人々の心の温かさを感じ、私たちは地球市民なんだと感じることができました。

熊本地震の被災地では、募金活動や、ボランティア活動をしました。普段は立ち入り禁止の場所に行き、それだけの被害があったのか知りました。自然災害の恐怖を体験し、地球の環境の回復がどれほど必要かを改めて感じました。

ベンジャミン学校に入って、普通の学校生活では出来ない様々なプロジェクトを通して、国内外のたくさんの人と交流し充実した生活を送ることができていると感じています。自己管理が身につく、よく周りのことを考えられるようになり、性格が明るくなり、人間的に成

長できたなと感じています。入学前よりも集中力、継続力、筋力などが強化されて、今は、自信をもって自分を表現できているようになりました。

僕の夢は、ベンジャミンの先生になり地球市民リーダーとして地球の希望の人材の成長を助けていくことです。

この学校を設立して下さった李承憲学長に本当に感謝しています。本当にありがとうございます。

日本ベンジャミン人間性英才学校は現在韓国・アメリカ・日本で開校しており、グローバル時代にふさわしい国際交流もカリキュラムの中に含まれています。

3期生募集(2018年春入学)もいよいよ始まりましたので、ぜひお近くの体験会・説明会にご参加ください。

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

